

# 県政報告会

## (HP版)

12月20日(土) 13:30 ~ 15:30  
香美市商工会 香北支所

12月20日(土) 18:00 ~ 20:00  
JAとさかみ 土佐山田支所

12月21日(日) 14:00 ~ 16:00  
奥物部ふれあいプラザ

# 本日の予定

- 13:30 ~ 14:00 県政報告
- 14:00 ~ 14:30 質疑応答(1部)
- 14:30 ~ 14:40 休憩
- 14:40 ~ 15:30 質疑応答(2部)

# 何を質問できるの？

→資料参照

## 総務部

秘書課  
政策企画課  
広報広聴課  
文書情報課  
法務課  
行政管理課  
人事課  
職員厚生課  
財政課  
税務課  
市町村振興課  
統計課  
管財課

## 危機管理部

危機管理・防災課  
南海トラフ地震対策課  
消防政策課

## 健康政策部

健康長寿政策課  
医療政策課  
医師確保・育成支援課  
医事薬務課  
国保指導課  
健康対策課  
食品・衛生課

## 地域福祉部

地域福祉政策課  
高齢者福祉課  
障害保健福祉課  
児童家庭課  
少子対策課  
福祉指導課

## 文化生活部

文化推進課  
国際交流課  
まんが・コンテンツ課  
県民生活・男女共同参画課  
私学・大学支援課  
人権課  
情報政策課

## 産業振興推進部

計画推進課  
地産地消・外商課  
移住促進課  
中山間地域対策課  
鳥獣対策課  
交通運輸政策課

## 商工労働部

商工政策課  
工業振興課  
新産業推進課  
経営支援課  
企業立地課  
雇用労働政策課

## 観光振興部

観光政策課  
地域観光課  
おもてなし課

## 農業振興部

農業政策課  
農地・担い手対策課  
協同組合指導課  
環境農業推進課  
産地・流通支援課  
地域農業推進課  
畜産振興課  
農業基盤課  
競馬対策課

## 林業振興・環境部

林業環境政策課  
森づくり推進課  
木材増産推進課  
木材産業課  
木材利用推進課  
治山林道課  
新エネルギー推進課  
環境共生課  
環境対策課

## 水産振興部

水産政策課  
漁業管理課  
漁業振興課  
合併・流通支援課  
漁港漁場課

## 土木部

土木企画課  
建設管理課  
建設検査課  
用地対策課  
河川課  
防災砂防課  
道路課  
都市計画課  
公園下水道課  
住宅課  
建築指導課  
建築課  
港湾振興課  
港湾・海岸課

## 公営企業局

電気工水課  
県立病院課

## 警察本部

## 公安委員会

## 教育委員会

教育政策課  
教職員・福利課  
学校安全対策課  
幼保支援課  
小中学校課  
高等学校課  
特別支援教育課  
生涯学習課  
新図書館整備課  
文化財課  
スポーツ健康教育課  
人権教育課

## 会計管理局

会計管理課  
総務事務センター

## 各種委員会等

監査委員事務局  
人事委員会事務局  
労働委員会事務局  
選挙管理委員会事務局  
収用委員会事務局

## 国政 香美市政

憲法・国防  
アベノミクス

# 質問

今一番有名な、県議会議員と云えば？

## 号泣会見

政務活動費の不正発覚

# 政治家のお金

一番聞きにくいことを先に私から

## 政治資金

- 政治団体
- 依光晃一郎後援会のみ
- 政党支部
- 持っていない

## 政務活動費

- 高知県より支給

個人 14万円 × 12か月 = 168万円

自民党会派 14万円 × 12か月 = 168万円

# 政務活動費

来年からは、領収書も公開

→データで開示

## 依光の使い途

- ・アンケート調査(調査研究費) →HPで公開 香美市の人口・集落調査・移住者アンケート など
- ・視察旅費(調査研究費) →ベトナム進出高知県企業 オランダの先進農業 など
- ・人件費・事務所費・印刷費は計上せず

→切手代も

# 基本方針

## ・政治への期待と信頼の回復

人のために。地域のために。→かっこいい。 = 自治会・自主防災会 活性化

## ・地域経済と雇用

高知県の地域文化を守るためには、人口維持・仕事の場

## ・香美市型地域コミュニティづくり

香美市の先人が築いた文化に誇りを持つ。受け継ぐ。助け合う。福祉のまち。移住したくなる町

# 県議会議員って要りますか？

高知市選挙区 定数15名 現在14名

香南選挙区 定数2名 現在1名

吾川郡選挙区 定数2名 現在1名

→現状の議会で問題が出ているか？

(定数39名 →来年2減)

知事には、**執行権**

→知事がやると言えば、実現

県議会議員は、**議決権**

→知事が決めた県行政について、GOを出す

# 県議会議員って要りますか？

依光の顔が見えない。

何をやっているか分からない。

高知県と香美市のためになっているか？

# 県議会議員って要りますか？

依光の考え = 「議員は、**成果を出してなんぼ**」

情熱だけは、無意味。 →県勢浮揚のためにがんばります！

情熱に加えて、**知恵と技術**がなければ、**成果**は出せない。

# 議員として成果を出す

忘れられない、ある女性の声

依光

「今度立候補します。よろしくお願いします」

女性

「議員になって、何がしたいが？」

# 議員として成果を出す

依光

「雇用を作って、集落の文化を守りたいと思います」

女性

「どうやって？」

# 議員として成果を出す

依光

「まずは一次産業の振興。農業が大事です」

女性

「みんな、そういう。できもせんのに！」

# 議員として成果を出す

議員は、成果を出してなんぼ

## 予算のチェックと改善

行政が使う予算の精度を上げる(効果を上げる)

(県庁職員さんとの日頃からの意見交換。委員会での提案)

→現場の声を、県庁に届ける。

議員は、机上ではない情報で勝負。日頃の情報収集 →飲み会をうまく使う？

## 議会質問で成果を出す

# 予算のチェックと改善



本年度の財源内訳		節		説	明
特定財源	一般財源	区 分	金 額		
		(11) 需用費	26,105	シカ肉等活用推進事業委託料	4,000
		(12) 役務費	1,192	サル捕獲業務委託料	6,449
		(13) 委託料	174,585	鳥獣被害対策地域リーダー育成事業委託料	1,653
		(14) 使用料及び賃借料	1,069	野生鳥獣に強い集落づくり事業委託料	13,122
		(19) 負担金補助及び交付金	239,422	鳥獣被害対策専門員配置事業委託料	33,432
				シカ被害特別対策事業費補助金	22,000
				新規狩猟者確保事業費補助金	5,700
				事務費	29,144
				3 鳥獣被害防止総合対策事業費	2014 12 19

一般会計 4,527億円 (香美市 243億円) →分厚い冊子 前年度の2月議会で承認  
 全て把握するのは困難。自分なりにテーマを作って

鳥獣対策課 4億6346万3千円 →鳥獣被害緊急対策事業費 1億9848万

# 予算のチェックと改善

【鳥獣対策課】

	26年度	単位・千円 (25年度)
<b>総合的な野生鳥獣の被害対策</b>		
鳥獣被害緊急対策事業費		
・シカ被害特別対策事業費	198,488	(207,602)
三嶺シカ捕獲事業		
・鳥獣被害対策普及強化事業費	6,805	( 0)
サル捕獲事業		
鳥獣被害防止総合対策事業費	6,465	( 0)
・鳥獣被害防止総合対策交付金	212,137	(223,481)
・鳥獣被害対策市町村支援総合交付金	186,046	(196,034)
<b>野生鳥獣の保護</b>		
鳥獣保護対策費	29,699	(33,953)
・鳥獣保護対策事業費		

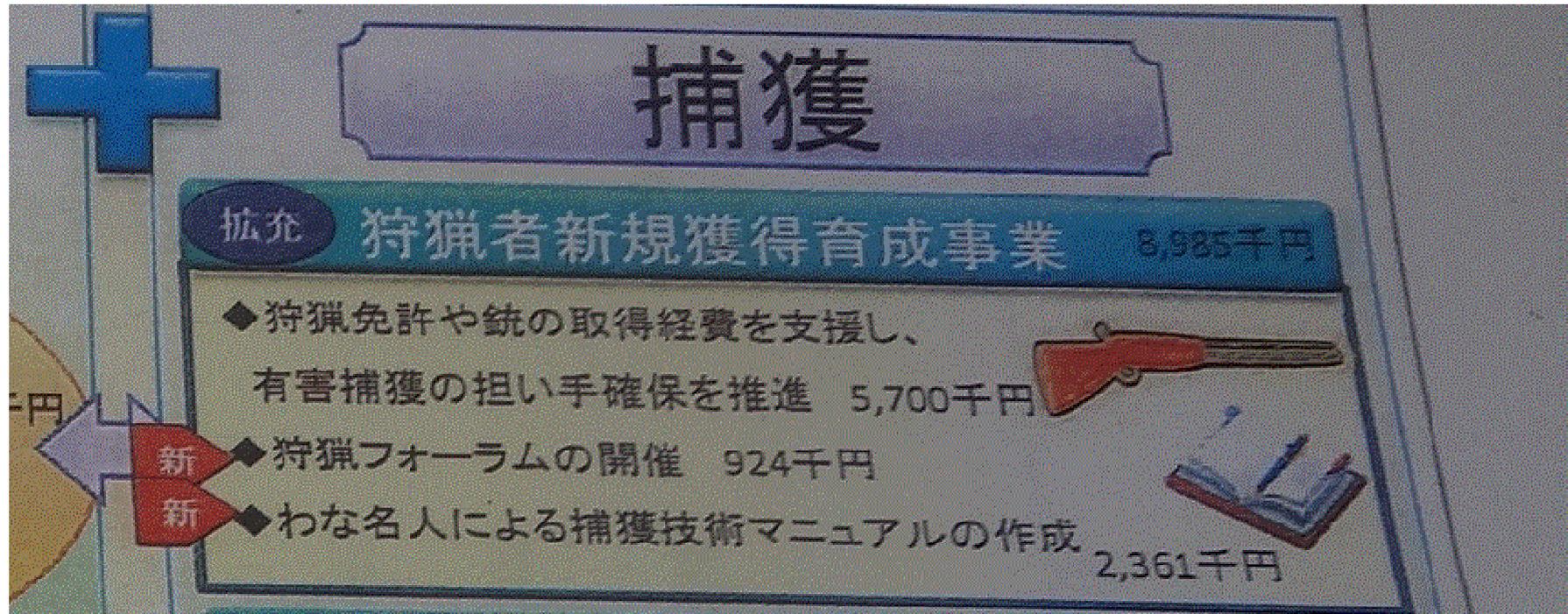
鳥獣対策課 4億6346万3千円の総予算 →鳥獣被害緊急対策事業費 1億9848万円

# 予算のチェックと改善



狩猟者新規獲得育成事業 898万円

# 予算のチェックと改善



26年度県予算 4,527億円

鳥獣対策課 4億6346万3千円

鳥獣被害緊急対策事業費 1億9848万円

狩猟者新規獲得育成事業 898万5千円

狩猟フォーラムの開催 92万4千円



# 議員として成果を出す

議員は、成果を出してなんぼ

予算のチェックと改善

行政が使う予算の精度を上げる(効果を上げる)

議会質問で成果を出す

→やりますをどうわせるか。

- ・インタビュー型質問
- ・提案型質問

# 議会質問で成果を出す



## インタビュー型質問 難易度 ~

県政の取り組みについて聞く

(行政がやっていること < まだ意識していないこと)

行政の課題認識・取り組み・成果について聞く質問

行政に課題の発見を促す質問

## 提案型質問 難易度

県政が手を付けていないことを提案する

= 成果・存在意義

# 例) タバコをやめたい? お父さん

## インタビュー型のお母さんの質問

「お父さんは、たばこの健康被害について、どういう課題を認識し、現状どういう取組を行い、どのような成果を上げているかお聞きします」

## お父さんの答弁

「タバコの健康被害については、十分認識しておりまして、できるだけ吸う本数を減らすよう、現在検討を進めている所でございます」

# 例) タバコをやめたい? お父さん

## 提案型のお母さんの質問

「現状お父さんは、タバコを1日20本吸っておまして、365日吸い続けた場合、7,300本となり、金額として410円×365日で14万9,650円支払っています。

健康被害としては、10年吸い続けた場合、がんになる確率は吸っていない人の 倍。20年の場合は 倍というデータが示されている所です。

私の調査によると、香北町の前田メディカルクリニックでは、禁煙外来の診察を行っており、一度診察を受けてみてはと考えるところですよ」



# 議会質問で成果を出す

## インタビュー型質問

「タバコの健康被害については、十分認識しておりますし、できるだけ吸う本数を減らすよう、現在検討を進めている所でございます」

## 提案型質問

「タバコの健康被害について、医師の診断を受けるということは、非常に有効な手段であると考えておりまして、診察を受けるということに関しまして、**検討**いたします」

# 議会質問で成果を出す

県行政を、依光が考える方向に動かすために  
(正確な現状把握と、できることを提案) →動かすは偉そうですね。

## インタビュー型質問

→行政が意識していなかったことを、意識させる

(行政は、質問に対して、やってないとは言わない)

怠慢と思われたくない?  
→問 県内の高校から県外の大学に進学した学生の県内就職についてどのように考えているのか。また、その状況を把握しているのか。  
こうち県議会だより第50号参照  
→課題発見を促す

## 提案型質問

→根回しが重要。積み木を積んでいく要領

→次の議会で、次の次の議会で良い答弁

# 議会質問で成果を出す

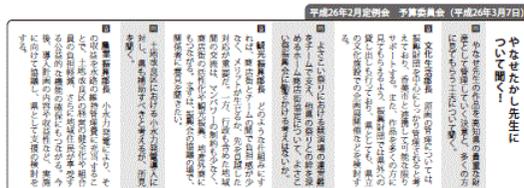
## 執行部の答弁は、面白い

- ・長々と答弁しているが、結局何もやらない？
- ・議員によって、答弁のニュアンス(愛情?)→形容詞
- ・誰が書いたのか想像しながら
  - ベテラン職員？ 若手？
  - 質問時に書き加えてくれる教育長答弁書と実際の答弁

本当は、議会質問全文を読んでいたきたいけど…。

# 後援会発行のビラと冊子(無料!)

まずは「こうち県議会だより」



お時間がある方は、全文掲載型の報告書

# 依光を働かせてください

県への要望 …… 県道～付近を広げてほしい

補助金情報 …… 農産物の加工品を作りたい

使える補助金はないか？

提案 …… 香美市に 〇〇 を作ってはどうか？

相談 …… ～で困っている。  
行政の窓口を教えてください。

後援会に電話 ハガキをポストに

0887-52-9222

(何回でも。28年10月31日まで)

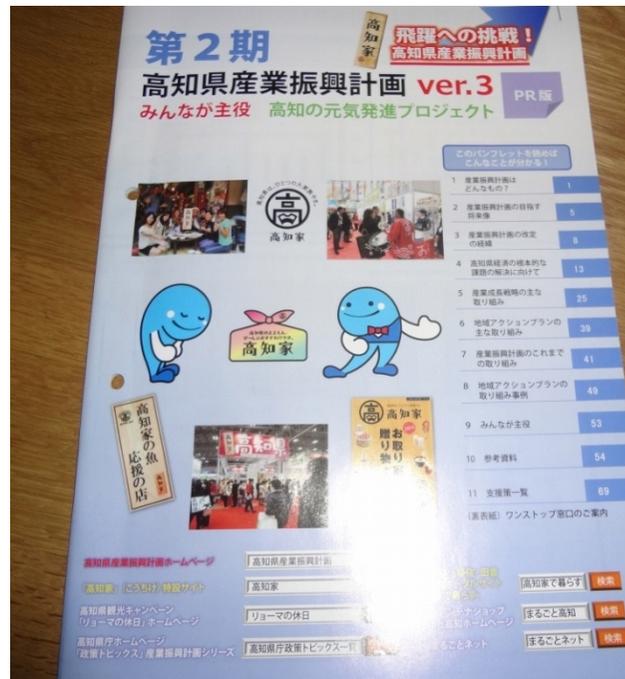
依光晃一郎後援会を応援します (紹介)

性別	男・女
お名前	お名前(姓) 姓
年齢	歳
〒	78
ご住所	香美市
お電話	
ご家族	

◎ 依光晃一郎への要望  
 説明を聴りに来て欲しい  私の意見や要望を聞いて欲しい  
 友人・知人を紹介したい  
内容

# 一番やらねばならないこと

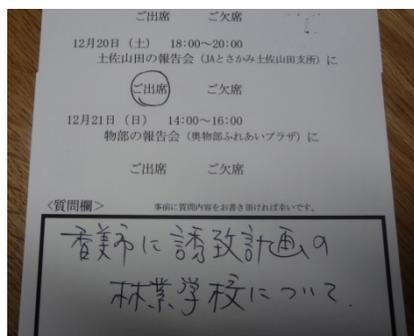
## 香美市発展を目指した数値目標と、 高知県政との共有



# 質疑応答 1部

(事前質問)

# 林業学校について



## 背景

大型製材工場の稼働  
バイオマス発電所の稼働で、原木生産を増やしたい

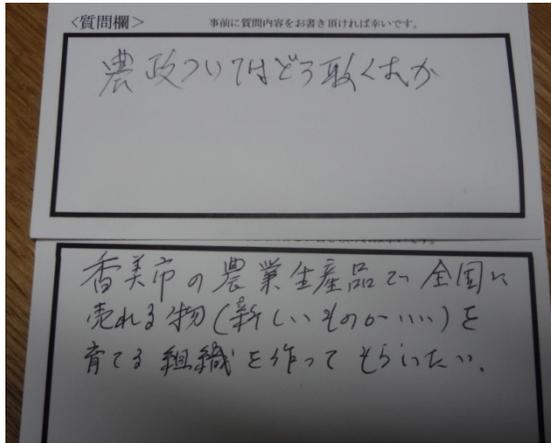
しかし労働者が増えない  
H24 1662人 H25年 1601人

新たな林業学校(仮称)の設立				日本一の林業学校を目指す!	
[林業学校(仮称)のイメージ]					
コース	育成する人材	研修内容	定員		
短期コース	●林業活動実践者の知識・技術のスキルアップ など	・森林経営 ・鳥獣対策 など	コースにより定員を設定	⇒	平成27年4~6月開講 (H27当初予算対応)
(自伐林家向けコース)	●自立し、事業展開ができる自伐林家	・小規模林業経営	20人		⇒
基礎コース (緑の青年就業準備支援事業)	●実践的な技術・知識を持ち即戦力となる人材	・森林科学 ・森林施業 ・森林・林業経営 ・木材利用 など	H27.28は 10人	⇒	平成29年4月開講を目指して検討 ＜12月補正＞ 1,980千円 設置検討会の運営
専攻コース	●林業事業者等の持続的な経営を支える高度で専門的な能力を持った人材	◆森林経営 ◆加工流通販売 ・森林管理 ・経営戦略 ・森林環境 ・CLT など	20人	⇒	

※研修内容や定員の詳細は今後検討する

短期・基礎コースは来年度から。森林総合センター(大平)で  
専攻コースは、専門学校のイメージ。場所は未定 →香美市に誘致したい!

# 香美市農政について



全国に売れる物を育てる組織作り

農産品 →JA土佐香美

やっこねぎ・ニラ・菌床シイタケ・大葉・ゆず

農産品加工品

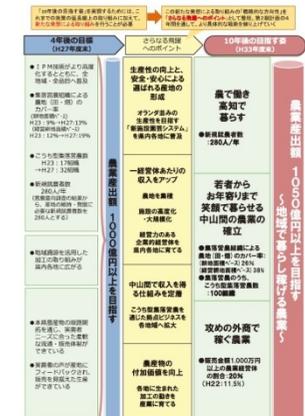
→産業振興計画の成長分野育成支援事業(食品)

既存の主力産品での新品種

パッケージ戦略 ニラ「高知家」のロゴ入り包装袋

バリュー かかし市の生産者の商品開発支援

直販市での観光客へのアピール



# 香美市農政について

## 5 産業成長戦略の主な取り組み 農業分野

現状	第2期計画ver.3の取り組み				
	H24	H25	H26	H27	
<b>農業産出額</b> 9300億円(H22) ↓ 9588億円(H23) ↓ 9699億円(H24)	<b>生産</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本県農産物の高収量化および高品質化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○高収量・高品質に向けた取組の展開(冊子P272~280)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び教えあう場」の取り組みのさらなる拡大</li> <li>・農業技術センターと連携し、現場のハウスに合った革新的な環境制御及び省エネ技術等の確立・普及(オランダの技術を習得して導入)</li> <li>・レンタルハウス整備や園芸用ハウス流動化への支援による、営農定着や規模拡大への負担の軽減</li> </ul> </li> <li>○環境保全型農業のトップランナーの地位を確立(冊子P282~292)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・天敵導入など安全・安心につながるIPM技術を全地域、全品目へ普及</li> <li>・オランダとの友好園芸農業協定を活かし、高収量・高品質に向けた「こうち新施設園芸システム」の構築</li> </ul> </li> <li>※次世代施設園芸団地の整備                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○米・土佐茶・畜産など地域の特産物の生産拡大やブランド化、生産性の向上(冊子P304~312)</li> </ul> </li> <li>※水田農業の担い手となる福作経営体の育成                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○畜産の生産基盤の強化</li> <li>※土佐あかうしの緊急増産</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◆担い手の確保と、地域の中核となる農業者等の規模拡大の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就農者の確保・育成と、実践研修などによる営農定着の支援(冊子P322~324)</li> <li>※農業担い手育成センターの整備</li> <li>○農地の集積による規模拡大や、経営体質の強化の推進(冊子P324~328)</li> <li>※農地中間管理機構による農地の集積・集約化</li> </ul> </li> <li>◆中山間地域の農業の維持・活性化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○集落営農を県内全域へ拡大(冊子P314)</li> <li>○こうち型集落営農へのステップアップ支援(冊子P314)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人化や組織が行う加工等への取組の促進</li> </ul> </li> <li>○中山間に適した農産物等の生産(薬用作物の生産拡大支援など)(冊子P320)</li> <li>・中山間での有望品目として、軽量で初期投資の少ないミシマサイコの生産拡大の支援</li> </ul> </li> </ul>			  
	<b>加工</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生産と一体となった加工ができる体制づくり</li> <li>◆農業者の収入につながる地域資源の加工の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物加工ができる人材の育成(冊子P316)</li> <li>・農業創造セミナー・修了生等のステップアップの支援</li> <li>○地域資源を活用した商品開発や事業者とのマッチング(冊子P316)</li> <li>・地域に残された伝統作物の生産基盤を整え、増やす、加工につなげる</li> <li>○農産物加工品のブラッシュアップの支援(冊子P316)</li> </ul> </li> </ul>			
	<b>流通・販売</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆園芸品の基幹流通を強化するとともに、実需者のニーズに対応できる新たな流通・販売体制の構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※新たな販路を開拓するとともに、実需者のニーズを的確に捉え生産に活用(冊子P294~296)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販店や中食、外食等の実需者への営業高談の強化による販路開拓、販売拡大</li> <li>・市場流通以外の「顧客と産地をつなぐ新たな受発注システム」の構築</li> <li>○産地を伝える販売を強化し、本県園芸品のファンづくり(冊子P298~300)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新園芸ブランド」による販売の拡大</li> <li>・本県農業の取組を理解してくれるパートナー直販店での販売の強化</li> <li>・流通関係者等の産地招へいや、品目のセールスプロモーションによる産地の取組のPR</li> </ul> </li> <li>○こだわ野菜・果実の生産者と多様なニーズを持った実需者とのマッチングを推進</li> <li>※高知県産花きの販売強化(果実で商談会の実施、花きアドバイザーの活動)</li> <li>○ユズ青葉や果汁・加工品、花き等の輸出支援。EU向け農産物輸出支援</li> </ul> </li> <li>◆特産農産物のPRや販促、商談会等により販路を拡大</li> </ul> </li></ul>			

※上記の「種子POO」は、第2期高知県農業振興計画ver.3(農産・産業成長戦略)におけるその項目の掲載ページです

「10年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組みを行うことが必要**

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。第2期計画の4年間を通して、より具体的な戦術を練り上げていく

4年後の目標 (H27年度末)	さらなる飛躍へのポイント	10年後の目指す姿 (H33年度末)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●IPM技術がより高度化するとともに、全地域・全品目へ普及</li> <li>●集落営農組織による農地(田・畑)のカバー率(耕地面積ベース)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>H23: 9%→H27:13%(経営耕地面積ベース)</li> <li>H23: 12%→H27:19%</li> </ul> </li> <li>●こうち型集落営農数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>H23: 17組織</li> <li>→H27: 32組織</li> </ul> </li> <li>●新規就農者数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>280人/年</li> <li>(意識意向調査の結果から、産地の維持・発展に必要な新規就農者数を280人とする)</li> </ul> </li> </ul>	<b>生産性の向上と、安全・安心による選ばれた産地の形成</b> オランダ並みの生産性を目指す「新施設園芸システム」を県内各地に普及	<b>農で働き高知で暮らす</b> ●新規就農者数: 280人/年
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域資源を活用した加工の取り組みが県内各地に広がる</li> </ul>	<b>一経営体あたりの収入をアップ</b> 農地を集積 施設の高度化・大規模化 経営力のある企業的经营体を県内各地に育てる	<b>若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立</b> ●集落営農組織による農地(田・畑)のカバー率: (耕地面積ベース)26% (経営耕地面積ベース)38% ●集落営農のうち、こうち型集落営農数: 100組織
<ul style="list-style-type: none"> <li>●本県農産物の販路開拓を通じ、実需者ニーズに合った柔軟な流通・販売体制ができていく</li> <li>●実需者の声が生産地にフィードバックされ、販売を見据えた生産ができていく</li> </ul>	<b>中山間で収入を得る仕組みを定着</b> こうち型集落営農を通じた拠点ビジネスを各地域へ拡大	<b>攻めの外商で稼ぐ農業</b> ●販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合: 20%(H22:11.5%)
	<b>農産物の付加価値を向上</b> 各地に生まれた加工の動きを産業に育てる	

農業産出額 1000億円以上を目指す

農業産出額 1050億円以上を目指す  
地域で暮らし稼げる農業

# 香美市農政について

## II ~県内での「ものづくり」の推進と新産業の創出~

### ◆ 食品加工の取り組み(地域アクションプランの取り組みは右図参照)

#### マーケットイン型の商品づくりの取り組みが前進

- 首都圏の高質系スーパー(4社)との連携による商品評価、面談、テスト販売などを通じてマーケットニーズに対応した商品の開発・磨き上げを推進  
参加:65社 255商品(全社に対して面談・商品評価を実施)  
うちテスト販売:52社 145商品
- 産農フードプロデューサーとの面談などを通じて、飲食チェーン店など業態向けの商品の開発・磨き上げを推進  
参加:53社(全社に対して面談・商品評価を実施)  
マッチング:21社(商談継続中を含む)

#### 水産加工の取り組みが前進

- 計画実行開始を契機に地域アクションプラン等により、水産加工の取り組みを推進

#### ユズ搾汁施設の大規模な強化

- 県内8施設のうち産業振興計画の取り組み開始後に4施設が搾汁能力を大幅に強化

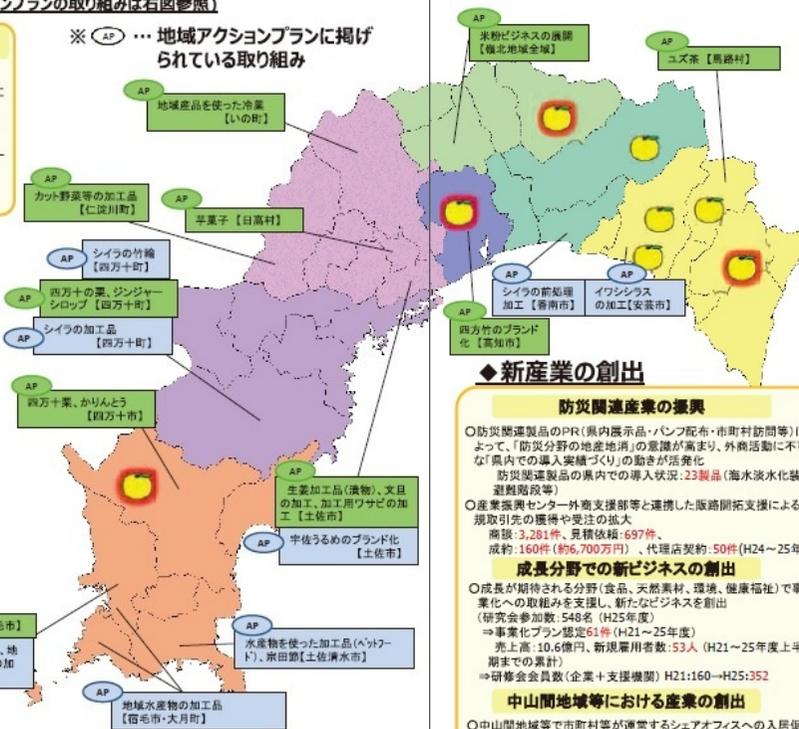
- ユズ搾汁施設 (県内8施設のうち産業振興計画開始後に強化した4施設)

#### 農産加工の取り組みが前進

- 計画実行開始を契機に地域アクションプラン等により、農産加工の取り組みを推進

- 地産地消・地産外販につながる動きも本格化

### ※(AP) … 地域アクションプランに掲げられている取り組み



### ◆ 新産業の創出

#### 防災関連産業の振興

- 防災関連製品のPR(県内展示品・パン配布・市町村訪問等)によって、「防災分野の地産地消」の意識が高まり、外販活動に不可欠な「県内での導入実績づくり」の動きが活発化  
防災関連製品の県内での導入状況:23製品(海水淡水化装置、避難階段等)
- 産業振興センター-外販支援部等と連携した販路開拓支援による、新規取引先の獲得や受注の拡大  
商販:3,281件、見積依頼:697件、  
成約:160件(約6,700万円)、代理店契約:50件(H24~25年度)

#### 成長分野での新ビジネスの創出

- 成長が期待される分野(食品、天然素材、環境、健康福祉)で事業化への取組みを支援し、新たなビジネスを創出(研究会参加者:548名(H25年度))  
⇒事業化プラン認定51件(H21~25年度)  
売上:10.6億円、新規雇用者数:53人(H21~25年度上半期までの累計)  
⇒研修会会員数(企業+支援機関)H21:160→H25:352

#### 中山間地域等における産業の創出

- 中山間地域等で市町村等が運営するシェアオフィスへの入居促進と、入居事業者の事業活動を支援  
支援箇所:3施設  
入居予定事業者:6事業者

#### コンテンツビジネスの創出

- ソーシャルゲーム等の開発やその他のコンテンツビジネスに取り組みとする県内企業を官民協働で支援  
⇒高知発コンテンツビジネスの事業化  
事業化プラン認定8件(ソーシャルゲーム6件、その他2件)(H22~H25年度)  
⇒県内企業によるソーシャルゲームの開発  
5件のゲーム化(H23~25年度)

#### 建設業の新分野への進出促進

- 建設業者の持つ能力を生かし、農林業や介護・福祉など、新たな分野へ進出しようとする建設業者を支援  
⇒新分野進出:H20:7社→H25:26社(累計)

### ◆ ものづくりの地産地消、企業誘致

#### 「ものづくりの地産地消」が進展

- ものづくり地産地消センターの設置(H23年度)  
⇒「ものづくり」に関して寄せられる様々な相談に対して一元的に対応  
相談件数:451件 マッチング件数:62件(H25年度)  
※産業振興センター-外販支援部と統合し、ものづくり地産地消-外販センターに改編(平成26年度~)
- 試作開発への支援(ものづくり地産地消推進事業費補助金)(完了件数)  
⇒12件(H23年度)、23件(H24年度)、24件(H25年度)  
例)可能設置型循環式水洗トイ、流出防止装置付農業用防災重油タンク、柑橘搾汁機械システム

- 食品加工試作機能の強化(食品加工研究機の設置)(H23年度)  
⇒県内事業者が加工食品の試作開発が行えるよう、工業技術センター内に設置  
利用事業者数:34事業者  
のべ利用回数:107回(H25年度)

#### ものづくり企業等の立地が拡大

- 48件の企業立地が実現(H21~25年度)  
⇒フル稼働時の新規雇用1,314人、  
出荷額239億円の増

#### ものづくり地産地消センターによるマッチング事例

地域別事例	高知研究に際する研修 紅茶菓子 バーの開発	浮力ベストの研 究	材料供給に際する研修 食品原材料の マッチング
お山の茶 明園園(有)アイ・テック	(株)マシニール 高知工業高等専門学校 環境都市デザイン 工学科	(株)蓮花屋 徳谷レッククラブ	
相関内容	紅茶の製造過程で使用する蒸籠を切断する機種を作りたい。	防災ベストに付与するフロート機能の開発を依頼できる機種を紹介したい。	県内産のトマトピューレを紹介したい。
対応	高知県工業会と協議し、希望企業を案内。(有)アイ・テックとマッチング。支援対象として高知県のものづくり小企業-小規模事業者試作開発等支援補助金への申請をすすめる。	高知工業会等専門学校連携研修会にて工学部山崎助教を紹介。中小企業への平成24年度補助金の呼びかけ小企業-小規模事業者試作開発等支援補助金への申請をすすめる。	地産地消-外販食品加工産業連携協議会、3社を紹介。
結果	上記事業の採択を受け、試作開発を行い、平成26年1月に試作機が完成。	中小企業への補助金を活用し、平成26年7月から共同研究を開始。平成26年9月に完成。	3社のうち高知市一宮支所がレッククラブからもサンプルを取り寄せ、試作「移香」のブランド使用の承認を受け、平成25年9月から「移香」によるものとして販売開始。
今後の取組	高知県のものづくり地産地消推進事業費補助金(高知県農工労働政策工業振興課)	平成24年度補助金のものづくり小企業-小規模事業者試作開発等支援補助金(中小企業庁)	平成25年度高知県のいもを加工した「物産品コンクール」で優秀賞受賞。(高知県産業振興推進部 地産地消-外販課)

### ◆ 新商品の開発等

#### 試験研究機関との共同研究による新商品の開発

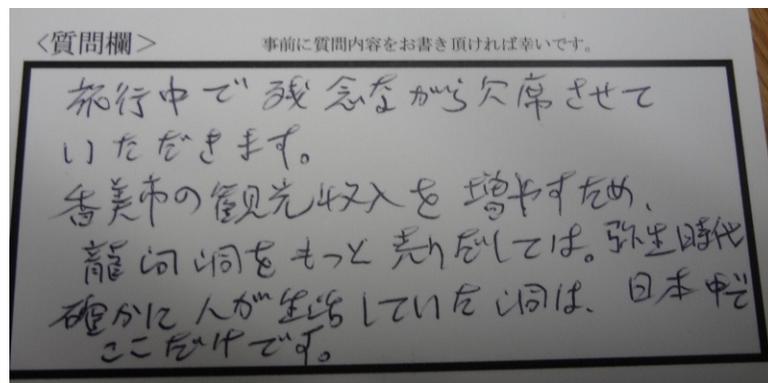
- 機械・金属:自動車ハンドル、減圧蒸留抽出装置スラリーアイス小型製氷装置、柑類類「搾汁システム」
- 食品加工:リキキュール、お魚チップスなど商品化180件(H21~25年度)
- 紙産業:災害備用毛布「不織布毛布」、プラチナ印刷用和紙土佐白銀紙など商品化25件(H21~25年度)
- 海洋深層水:深層水シアオリ(生産量 H20:1.5t → H25:2.8t)

#### 農商工連携等による「ものづくり」が進展

- 農林漁業者と中小企業者等の連携による製品づくりを支援(こうち農商工連携基金)のべ41件(H21~25年度)  
例)シイラ漁業再生を目的としたシイラ加工食品等の開発【狭行んかま・調津漁協四万十マヒマヒ企業組合】
- 地域資源を活用した中小企業等の経営革新や産業関連連携の研究成果の事業化等への取り組みを支援(こうち産業振興基金)のべ551件(H21~25年度)  
例)地域資源循環につながる高産増産加工技術の創出【業松エンジニアリング㈱・高知農工業技術センター-農畜産試験場】

支援窓口 ・ 物部川地域本部 ・ ものづくり地産地消センター(県) ・ よろず支援拠点(国)

# 龍河洞の売り出しについて



来場者数	アンパンマン	べふ峡温泉(参考)
H25 116,809	152,132	27,007
H24 107,129	175,608	27,648
H23 110,783	197,686	30,037
H22 117,540	204,765	34,076

広域観光 南国・香南と連携・・・はた博 東部博 奥四万十博  
→大型バスが食事のできる所

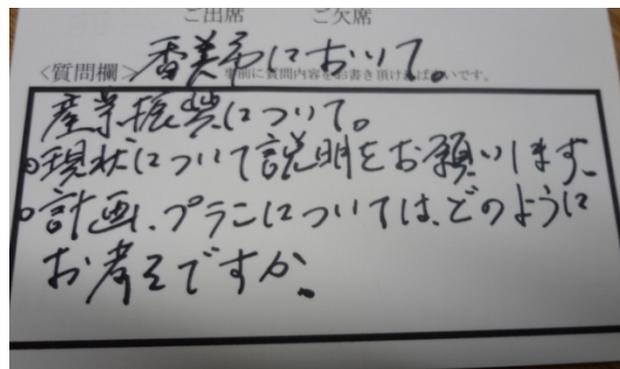
施設整備 照明をLEDに(地域観光課予算)

学習 小学生が龍河洞へ 工科大生

イベント キャンドルナイト 龍河洞まつり

広域連携 日本三大鍾乳洞 龍泉洞(岩手県) 秋芳洞(山口)

# 香美市の産業振興



香美市の産業振興・・・もっと主体性を  
数値目標を作るべき(公開すべき)

組織の問題？  
→忙しすぎる？

## 香美市

産業振興課	課長1名
総務班	3名
農政班	7名
商工観光班	4名
林政班	5名

## 高知県

鳥獣対策課
農業振興部
商工労働部+観光振興部
林業環境振興部

突き詰めれば、雇用を維持し、雇用の場を生み出していく

- 1、事業者の利益が出ているか
- 2、新規就農・新規開業の取り組み

# 香美市の産業振興

農業分野	林業分野		商工業分野	観光分野		地産地消・地産外商 戦略（食品分野）
(目指す姿) ・ <b>地域で暮らし 稼げる農業</b>	(目指す姿) ・ <b>山で若者が働く、 全国トップ3の国産材産地</b>		(目指す姿) ・ <b>ものづくりから の雇用拡大と 地域の賑わい</b>	(目指す姿) ・ <b>地域の魅力が人を誘う、 世界に通じる観光産業</b>		(目指す姿) ・ <b>ALWAYS地産地消</b> ・ <b>素材を生かした加工立県</b> ・ <b>県産品が全国ブランドに</b>
(代表する数値目標)	(代表する数値目標)		(代表する数値目標)	(代表する数値目標)		(代表する数値目標)
<b>Q農業産出額</b>	<b>Q原木生産量</b>	<b>Q木材・木製品 製造業出荷額等</b>	<b>Q製造品出荷額等</b>	<b>Q県外観光客 入込数</b>	<b>Q観光 総消費額</b>	<b>Q食料品 製造業出荷額等</b>
【10年後】 1,050億円以上	【10年後】 81万㎡以上	【10年後】 200億円以上	【10年後】 6,000億円以上	【10年後】 435万人以上	【10年後】 1,300億円以上	【10年後】 900億円以上
【4年後】 1,000億円以上	【4年後】 72万㎡以上	【4年後】 190億円以上	【4年後】 5,000億円以上	【4年後】 400万人以上	【4年後】 1,100億円以上	【4年後】 800億円以上
【現状(H24)】 969億円	【現状(H24)】 46.5万㎡	【現状(H24)】 160億円	【現状(H24)】 4,945億円	【現状(H25)】 407万人	【現状(H25)】 1,102億円	【現状(H24)】 723億円
【出発点(H22)】 930億円	【出発点(H22)】 40.4万㎡	【出発点(H22)】 150億円	【出発点(H22)】 4,681億円	【出発点(H23)】 388万人	【出発点(H23)】 953億円	【出発点(H22)】 726億円

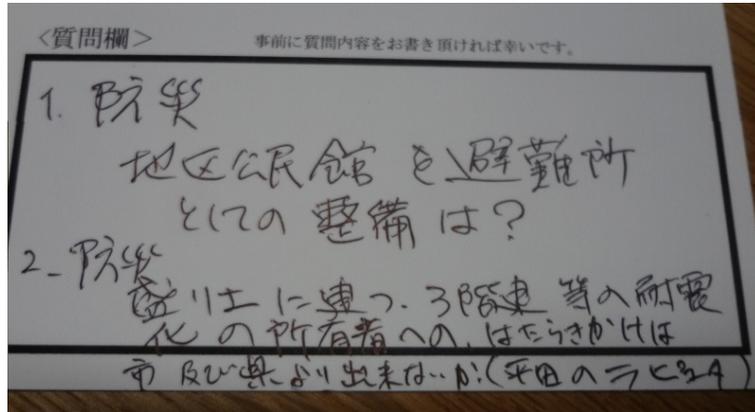
## 製造品出荷額

平成24年 高知県 4,945億円(4年後+55億)

1位 高知市 1432億円	4位 香南市 415億円
2位 南国市 842億円	5位 いの町 260億円
3位 須崎市 585億円	6位 香美市 237億円(4,8%) → +2,6億円

4年後  
55億の4,8%

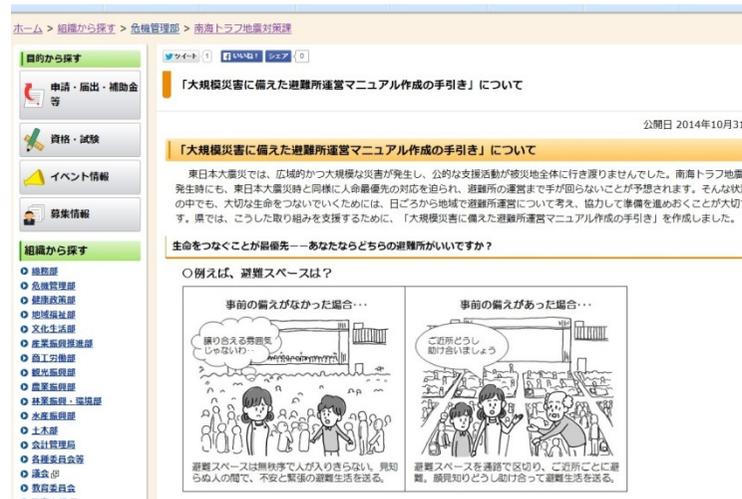
# 防災について



Q.地区公民館を避難所として整備は？  
→県は市を通じて自主防災組織支援

地域防災対策総合補助金(補助率1/2)  
3億2,420万円(平成27年度)

自助 室内安全対策(全世帯を対象)など  
共助 自主防災組織等が行う学習会や訓練及び資機材の整備など  
公助 避難場所や避難所の環境整備など



「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル  
作成の手引き」について (2014年10月31日)

# 防災について

「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル作成の手引き」について (2014年10月31日)

ホーム > 組織から探す > 危機管理部 > 南海トラフ地震対策課

ツイート 1 いいね! シェア 0

## 「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル作成の手引き」について

公開日 2014年10月31日

### 「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル作成の手引き」について

東日本大震災では、広域的かつ大規模な災害が発生し、公的な支援活動が被災地全体に行き渡りませんでした。南海トラフ地震の発生時にも、東日本大震災時と同様に人命最優先の対応を迫られ、避難所の運営まで手が回らないことが予想されます。そんな状況の中でも、大切な生命をつないでいくためには、日ごろから地域で避難所運営について考え、協力して準備を進めおくことが大切です。県では、こうした取り組みを支援するために、「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル作成の手引き」を作成しました。

#### 生命をつなぐことが最優先—あなたならどちらの避難所がいいですか？

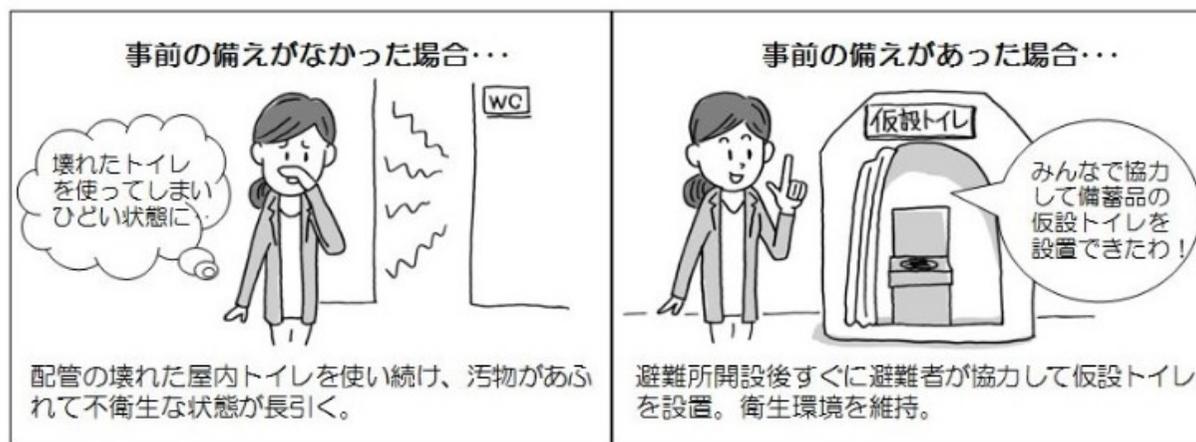
○例えば、避難スペースは？

<p>事前の備えがなかった場合・・・</p>  <p>避難スペースは無秩序で人が入りきらない。見知らぬ人の中で、不安と緊張の避難生活を送る。</p>	<p>事前の備えがあった場合・・・</p>  <p>避難スペースを通路で区切り、ご近所ごとに避難。顔見知りどうし助け合って避難生活を送る。</p>
--	--

# 防災について

「大規模災害に備えた避難所運営マニュアル作成の手引き」について (2014年10月31日)

○例えば、トイレや衛生環境は？



○例えば、配慮が必要な人への対応は？



# 防災について

## エ 対策の実施による減災効果

本計画により、地震・津波対策が進み、早期に避難をすれば、以下のとおり確実に被害を縮減することができます。一つひとつの対策を着実に積み重ねていくことが重要です。

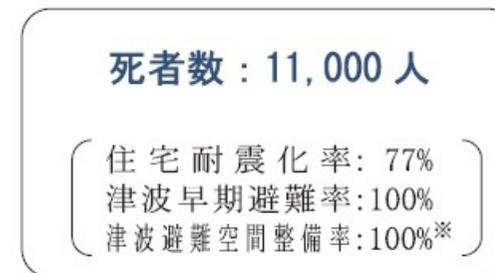
<建物耐震化、津波早期避難意識向上等による被害軽減イメージ>

【現状】



建物の耐震化  
津波避難意識の向上  
津波避難空間の確保

【3年後】



※平成25年2月時点の整備予定数に対する割合



南海トラフ地震対策行動計画  
(平成25年度～平成27年度)より

# 防災について

<人的・物的被害の想定（H25. 5 高知県）>

人的被害（死者数）が最大となるケースで想定

○地震・津波の設定

- ・揺れ：陸側ケース（高知県の直下で強い揺れが発生するケース）
- ・津波：ケース④（四国沖で大きな津波が発生するケース）

○時間・条件の設定

- ・時間帯：冬深夜
- ・住宅の耐震化率：74%
- ・津波早期避難率：20%

○死者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 5,200 人	約 110 人	約 500 人	約 36,000 人	若干数	約 42,000 人

○負傷者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 33,000 人	約 140 人	約 300 人	約 2,900 人	若干数	約 36,000 人

# 防災について

## ○避難者数

	1日後	1週間後	1か月後
避難所	約 280,000 人	約 243,000 人	約 127,000 人
避難所外	約 158,000 人	約 127,000 人	約 296,000 人
合計	約 438,000 人	約 370,000 人	約 423,000 人

## ○全壊建築物数

揺れによる 建物被害	火災による 建物焼失	がけ崩れによる 建物被害	液状化による 被害	津波による 建物被害	合計
約 80,000 棟	約 5,500 棟	約 710 棟	約 1,100 棟	約 66,000 棟	約 153,000 棟

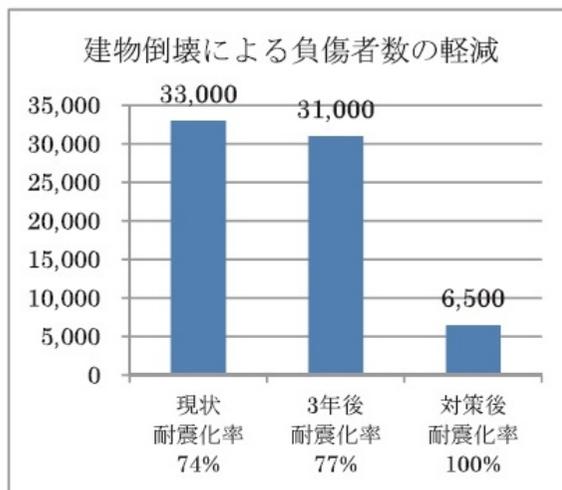
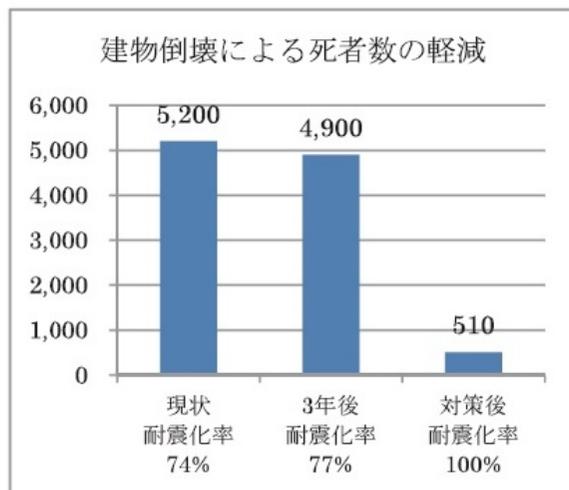
## ○ライフライン被害数（被災直後）

上水道	下水道	電力	通信（固定電話）	ガス（都市ガス）
約 575,000 人	約 244,000 人	約 521,000 軒	約 217,000 回線	約 28,000 戸

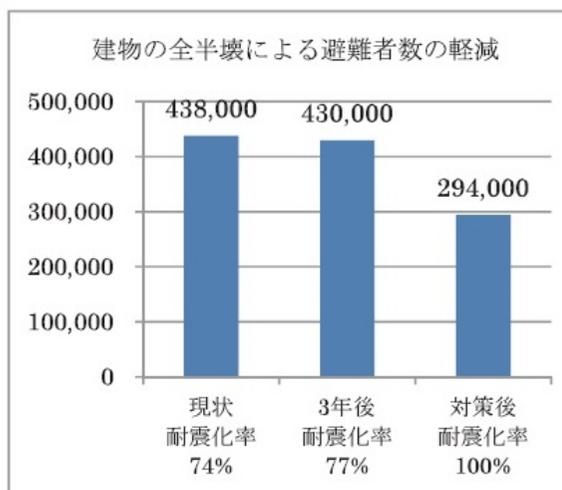
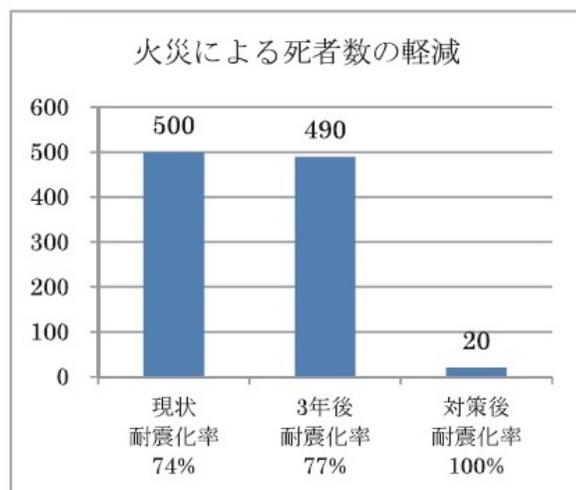
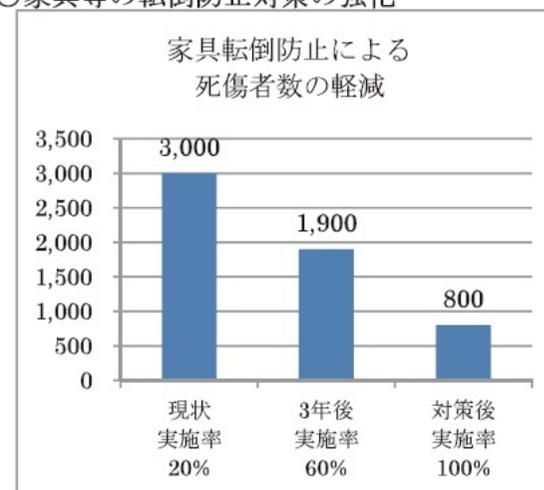
# 防災について

<対策の実施による被害軽減効果>

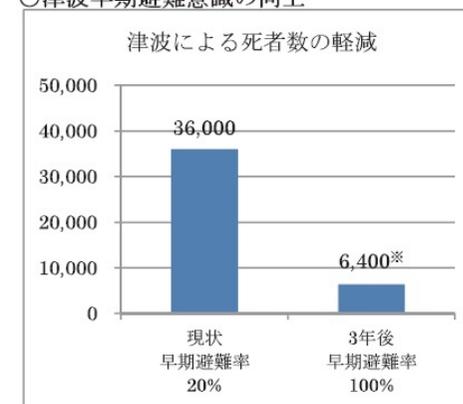
○建物の耐震性の強化



○家具等の転倒防止対策の強化



○津波早期避難意識の向上



※早期避難率が 100%になっても死者がゼロとならないのは、倒壊した建物から脱出することができず、津波に巻き込まれるため

時間ありますので、ご質問をどうぞ！

<質問欄>

事前に質問内容をお書き頂ければ幸いです。

集政報告の内容に依りませか  
予想される南海地震関連  
経済政策関連  
林業政策関連

発言者の多し時は  
時間余裕れば

# 質疑応答 2部

# 主な質問内容

香美市の産業について(農林・商工業)  
あけぼの街道の完成時期。  
急傾斜地の予算確保。  
新改バス路線。  
畜産と米の転作。  
永瀬ダムの耐震化。  
人口減少社会と香美市人口。  
ユズの振興。 などなど。

以上